

外国語を使う仕事のガイド

『外国語のおしごと：高校生の今、見つける』 幻冬舎メディアコンサルティング 2008年
ISBN 978-4-344-99638-0

『日本語教師になるには』 エイ・アイ・ケイ教育情報部編著 ペリかん社 2003年
ISBN 978-4-8315-1041-9

『ホテルにかかわる仕事：フロントマネージャー コンシェルジュ 総料理長』
ほるぷ出版 2008年 ISBN 978-4-593-57218-2

『語学で身を立てる』 猪浦道夫著 集英社 2003年 ISBN 978-4-08-720181-9

『国際関係の仕事なり方完全ガイド』 改訂新版 学習研究社 2004年 ISBN 978-4-05-402606-3

インフォメーション!

◎留学情報センター (http://www.jasso.go.jp/study_j/info.html)

(独)日本学生支援機構のHPにあるページ。
「海外留学関連リンク」、「地域・国別情報」など、留学に役立つ情報をホームページで得ることができる。また、電話やEメール等による留学相談も受け付けている。
資料閲覧室(東京都江東区青海2-79)では、留学に関する書籍や雑誌を見ることができる。

キャリアデザイン 4

外国語を使う仕事

外国語を使う仕事がしたい! そんなあなたに、語学力を活かす仕事をするための参考になる資料をご紹介します。

『翻訳家の仕事』 岩波書店編集部編 岩波書店 2006年
ISBN 978-4-00-431057-0

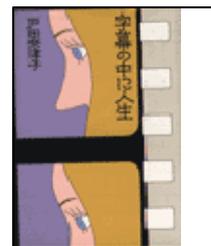
英米文学、フランス文学、中国文学・・・。
文学作品の翻訳を行う37名の翻訳家たちが、
翻訳との出会い、その魅力や苦労に
ついて、自らの経験を元に明らかにする。



言葉を駆使して！

『字幕の中に人生』 戸田奈津子著 白水社 1994年
ISBN 978-4-560-03297-8

字幕翻訳を職業にしたいと思った著者は、映画の巻頭タイトルに出てきた翻訳者の名前から住所を調べ、教えを乞う手紙を書く。OLや資料翻訳をしながら字幕づくりの基本を教わるものの、なかなか仕事には結びつかない日々を送っていた。大学を卒業してからほぼ10年後、初めて字幕をつける仕事が舞い込んできた著者は、自分の訳した字幕がスクリーンに映し出される感激を味わう。



『英語ひとすじの道』 東後勝明著 新版 筑摩書房 2002年
ISBN 978-4-480-81620-7

中学1年生の時にNHKラジオ講座の「英語会話」を聴き始めた少年は、英語教師やイギリスでの留学生活を経て、1972年から13年間自らが「英語会話」の講師を務めることになる。常に英語を学び続け、そして人に教え続けた半生を描く。

外国で働く！



『イタリアに行ってコックになる：24 stories of Japanese in Italy』 井川直子著 柴田書店 2003年 ISBN 978-4-388-05936-2

料理は現地に行かなければわからない、先に旅立った友達を見送り自分も行きたくなった・・・様々な理由でイタリアに渡り、料理の修業を積む24名の若者が、今の自分を語る。著者は2002年、2003年と、インタビューを2回行っている。1年を経て日本に戻った者がいる。イタリアで働き続ける者もいる。彼等は皆、自分の意思で、今この瞬間を生きている。

『貧困に立ち向かう仕事：世界銀行で働く日本女性』
西水美恵子著 明石書店 2003年 ISBN 978-4-7503-1803-5

世界銀行は発展途上国へ融資を行い、国づくりを手伝う国際機関だ。ここで日本人女性初の副総裁となった著者が、パキスタンでの銀行システムの立て直し、ハンガリーでの経済改革プロジェクトなどの体験を通じて、自らの役割を語る。世界銀行の融資はその国の人々の幸福のためにある。貧困をなくすためには、どういう支援が有効か。女性解放や教育の大切さを分かりやすく説く。



『国際協力の現場から：開発にたずさわる若き専門家たち』
山本一巳・山形辰史編 岩波書店 2007年 ISBN 978-4-00-500564-2

武力紛争や結核、マラリアなどの感染症といった、開発途上国の人々が多く直面する問題、それらの解決のために奮闘する18人の若き専門家たち。「逆境に立ち向かう」、「子どもたちの未来のために」、「平和な世界を目指して」、「国際協力のアプローチ」に大きく分かれ、それぞれが開発途上国の現状、および自分が取り組んでいる専門分野について語る。